

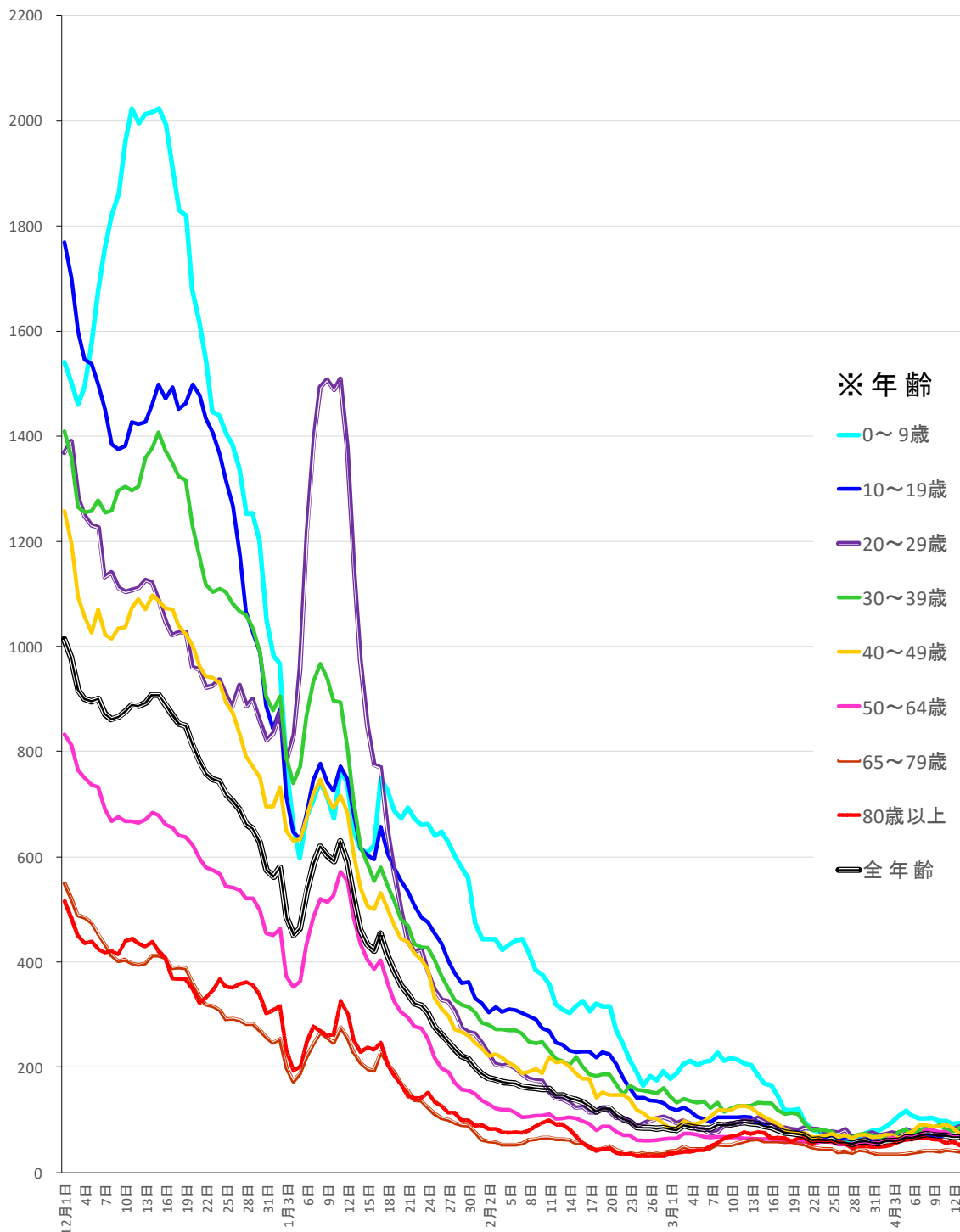
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）関連情報

(2023年4月14日)

山形県内の COVID-19 流行の「第 8 波」は、2022 年 11 月下旬をピークに感染者数が減少に転じました。12 月は小児(特に 9 歳以下)の感染急拡大、2023 年の年始には若者(特に 20 歳台)の感染急拡大がありました。2 月末までは全体として減少傾向が続きました。しかし、3 月以降の新規感染者数は下げ止まり(横這い～微増)の傾向が続いています。そこで今回は、「第 8 波」の後半(2022 年 12 月以降)の感染状況(図 1)を概観していただいた上で、直近(2023 年 3 月以降)の年齢群別の感染状況(図 2)について紹介いたします。

図 1 山形県内の COVID-19 流行の「第 8 波」後半の感染状況

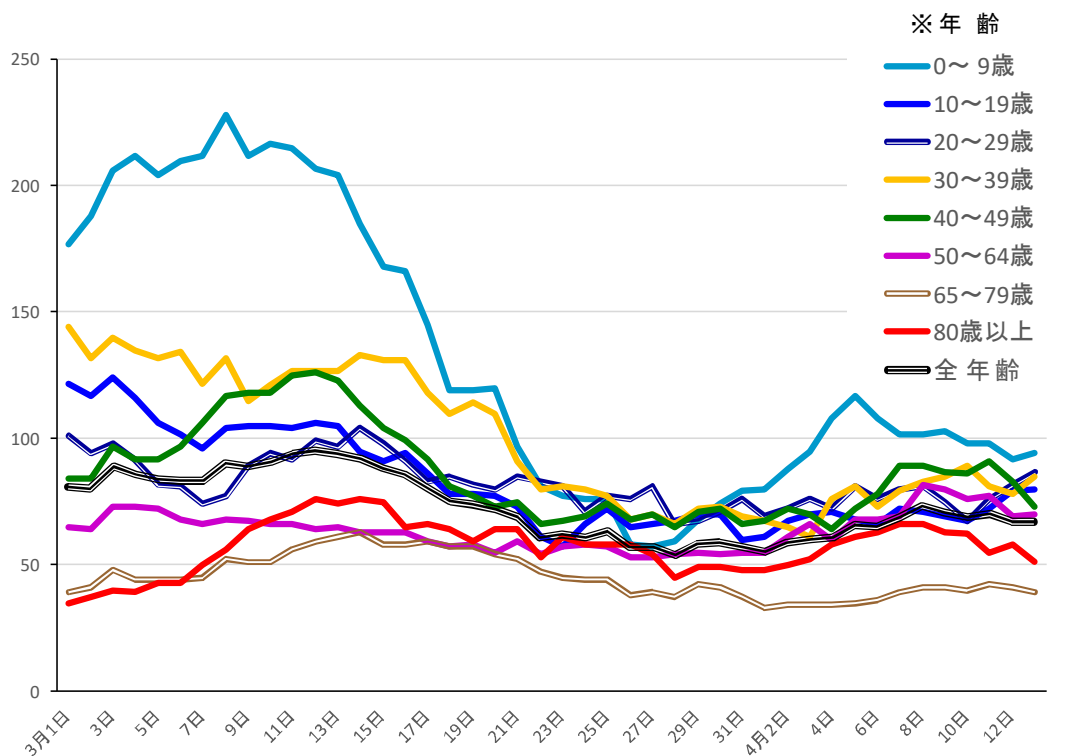
※年齢群別にみた7日間累計新規感染者数(人口 10 万対)の推移
(2022 年 12 月 1 日～2023 年 4 月 13 日)



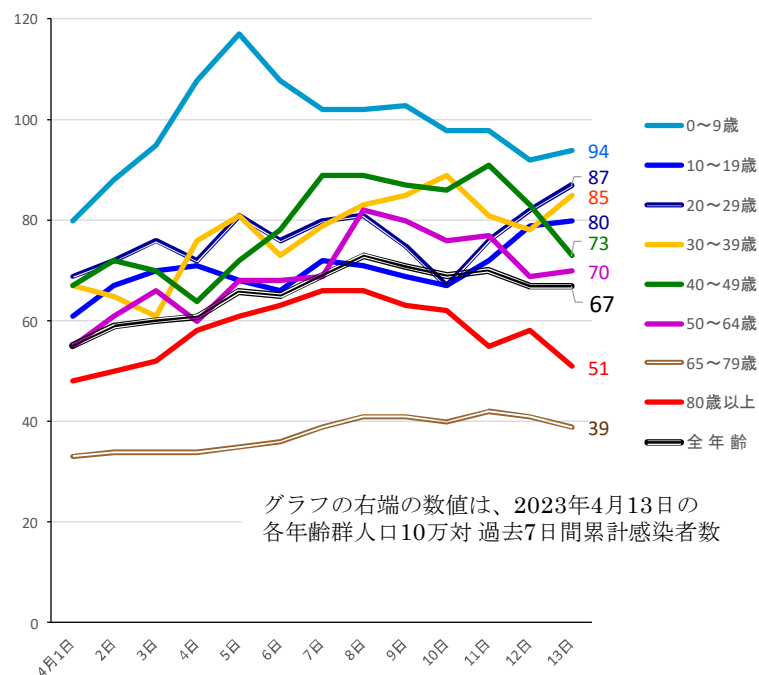
※2023年3月以降は（**図2**）、小児（9歳以下）の感染者数が3月上旬に一時増加し、その親世代（30歳台）の感染者数が他の年齢群よりも多い傾向が続きました。3月下旬には各年齢群の感染者数の差が縮まり、全年齢の7日間累計新規感染者数（人口10万対）は60未満となりました。しかし4月に入ると（**下記：再掲の図**）、小児（9歳以下）の感染者数が再び増加に転じ、その親世代（30歳台）でも増加傾向となりました。加えて4月に入ってからは、歓迎会等を含めた社会活動の活発化の影響かどうかは不明ですが、40歳台及び50～64歳の感染者数が他の年齢層に比べて多い傾向を認めました。

図2 山形県内の直近の COVID-19 流行の特徴

※年齢群別にみた7日間累計新規感染者数(人口10万対)の推移
(2023年3月1日～同年4月13日)



4月1日以降 (再掲)



※年齢群別人口は、直近の公表値として、2021年10月1日時点の推計人口を使用

(文責：山形県医療統括監 阿彦忠之)